

事業所名

ミライこどもケア発達支援教室

## 支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和6年

4月

1日

事業所理念		「家庭に笑顔を」 家庭に笑顔を増やし、幸せな社会を築く礎となることを目指します。		
支援方針		個別療育で運動や遊びを通して「できた」という経験を重ね自己肯定感を持てるようにし、お一人おひとりのお子さまが自分で自分のミライを創る力を育てていきます。また、ご家族様への相談援助や関係機関との連携を実施し包括的な支援を行えるように努めます。		
営業時間		9:00~18:00	送迎実施の有無	あり <b>なし</b>
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚特性を把握し、クッションやトランポリンなどの遊具を用いて感覚ニーズの充足を図り安定した覚醒状態で過ごせるようにしていきます。</li> <li>・生活の中で必要な挨拶や時間を意識しながら過ごすことを療育場面でも行い、生活に汎化されるように支援していきます。</li> </ul>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢保持の力や協調運動、空間認知能力、手指の巧緻性を目的のある運動遊びを通して向上させていきます。「できた」という思いが持てるようスモールステップでの取り組みを行い、身体を動かすことに自信を持てるようにしていきます。</li> <li>・感覚鈍麻傾向のお子さまには繰り返し必要な感覚の入力を行い、感覚過敏傾向のお子さまには少しずつ感覚に慣れ受け入れ幅が広がっていき、一人ひとりに合わせた感覚の入力調整を行います。</li> </ul>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝ち負けのある遊びを通して、負けることがあっても遊び自体が楽しい、自分自身の価値は変わらない、と感じられるよう認知の偏りを修正していきけるようにしていきます。</li> <li>・小集団での遊びを通して客観的な視点を獲得し、周囲の状況を把握しながら過ごしていきけるよう支援し、生活場面での困り感を軽減していきけるようにします。</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やりたい遊びやしてほしいこと等、言葉を通して発信ができることができるよう丁寧にやり取りを行っていきます。うまく言葉にできない時には思いを受け止め、適切な言葉を補足してフィードバックを行い言葉と思いを合致させていき使用言語の増大を図ります。</li> <li>・相手からの言葉や提案を受け入れられる力が相互的なやり取りを通して身についていくよう支援します。その際には相手の気持ちに気づいていきけるように思いを言葉にして分かりやすく伝えるなど、自分と相手の違いも知っていきけるようにします。</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者との信頼関係を築くことで自分の気持ちを出していきける安心安全の場となるようにしていきます。その経験を元に信頼できる大人がいるという安心感や自分なら大丈夫という自己肯定感を持って社会生活を営んでいきける力を育みます。</li> <li>・小集団での遊びを通してルールや順番を守りながら遊ぶ楽しさを知り、他者との良好な関わりを持てるように支援していきます。</li> </ul>		
家族支援		療育後のフィードバックや子育てサポート支援、相談支援等を通じて子育てに関する不安や悩み、困り事への相談援助を行います。	移行支援	学校や関連の施設との連携を適宜行い、本児を取り巻く環境の中で安心して過ごせるように支援します。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との連携を取り、情報交換や課題について共有します。</li> <li>・関係施設との担当者会議に参加し、支援についての認識を深めます。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内研修やミーティング、社外研修を通して質の向上に取り組めます。また、虐待防止研修や施設安全点検等も定期的に行い利用者の方々に安心してご利用いただけるよう努めます。</li> </ul>